

取扱説明書

DAYTONA corp.

S64229①/③

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。


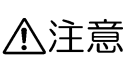
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ハーレー用 電源割り込みカプラー	適応車種	商品NO.
	HARLEY-DAVIDSON 適応車種は2ページ参照	64229

■ ご使用前に必ずご確認ください ■


- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
- ※ この商品や文中に紹介した商品は予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。予め御了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。



 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 適応車種以外への取付は、絶対に行わないでください。取付部位の形状が異なり取付はできません。
---	---

注意

 実施	<ul style="list-style-type: none"> 走行前に、ハーネスの取り回しに異常が無いことを必ず確認して下さい。確認を怠ると重大な事故につながる場合があります。また、取付後100km走行しましたら、各部を点検してください。その後は500km毎に同様の点検を行ってください。 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ハーネスの結線中にショートすることがあり、感電の危険や車両火災の原因になります。 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
 その他	<ul style="list-style-type: none"> この商品はドイツカプラーDTMシリーズ専用品です。DTシリーズはサイズが異なるので使用できません。

適合車種

- SPORTSTER ('99~'07)
- DYNA ('99~'11)

※ 一部車種、年式においてスピードメーターカプラーまたはインジケーターカプラーがドイツカプラーDTMシリーズではないモデルが存在しています。弊社にてパーツリストで確認した適合不可車両は下記となります。

FXDBI('06), FXDB('08~'09), FXD('07~'09),

- SOFTAIL ('99~'11)

※ FXCW, FXCWC('08~'11)はスピードメーターカプラーまたはインジケーターカプラーがドイツカプラーDTMシリーズではなく形状が合わないため、適合不可となります。

本商品の特徴

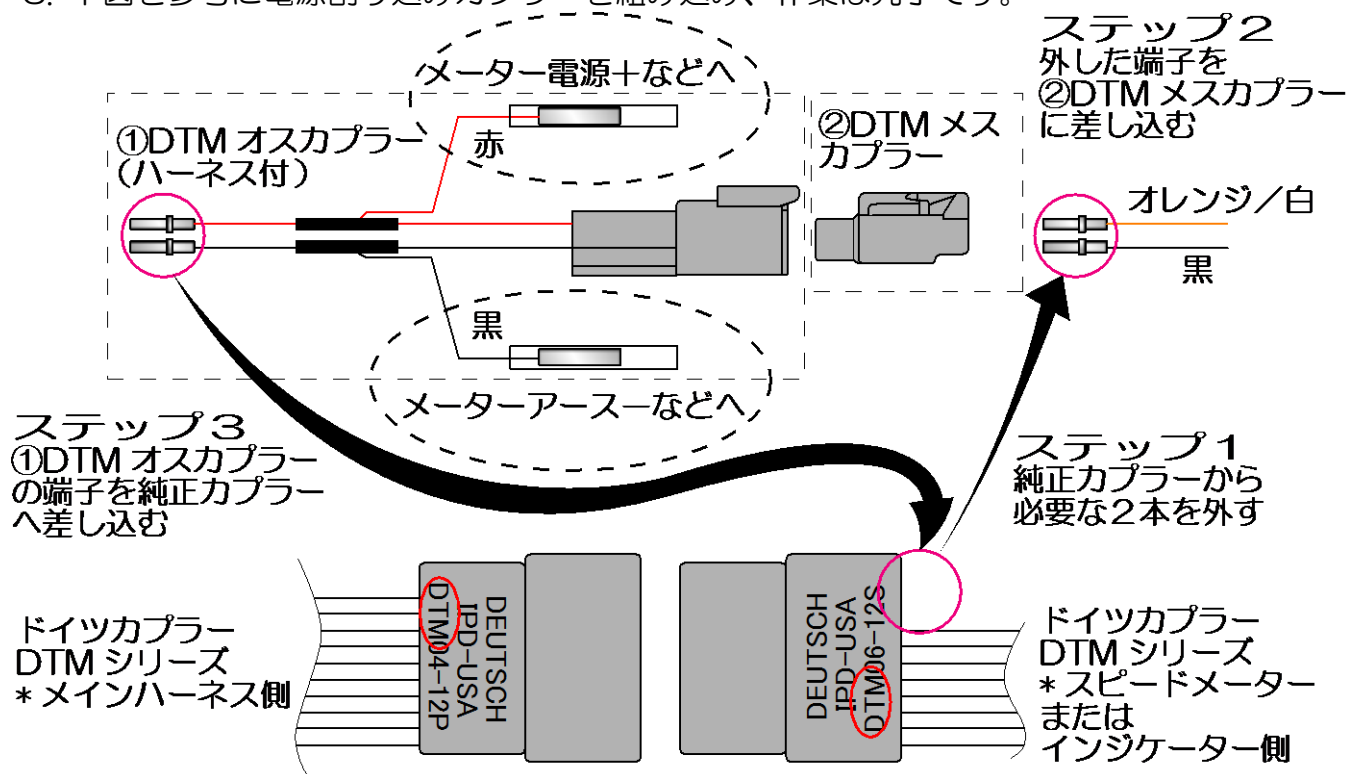
- ハーレーの多くのモデルに採用されているドイツカプラーDTMシリーズから、加工なしで電源を確保できる便利なカプラー。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
①	DTM オスカプラー	ハーネス付	1	②	DTM メスカプラー		1

取付方法

1. バッテリーのマイナス端子を取り外します。
2. +／－電源を取り出すドイツDTMカプラーを探し、3ページを参考に取り外します。
※ スピードメーターカプラーまたはインジケーターカプラーのどちらかが該当します。
ACC+電源（イグニッションONで12V）：純正ハーネス色（オレンジ／白）
GND（ボディーアース）：純正ハーネス色（黒）
3. 下図を参考に電源割り込みカプラーを組み込み、作業は完了です。

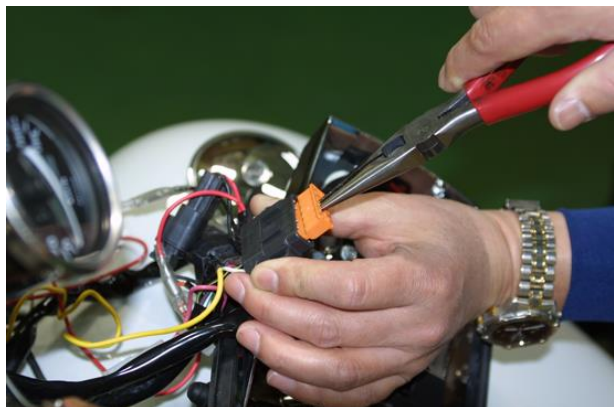


＜刻印に注目！＞

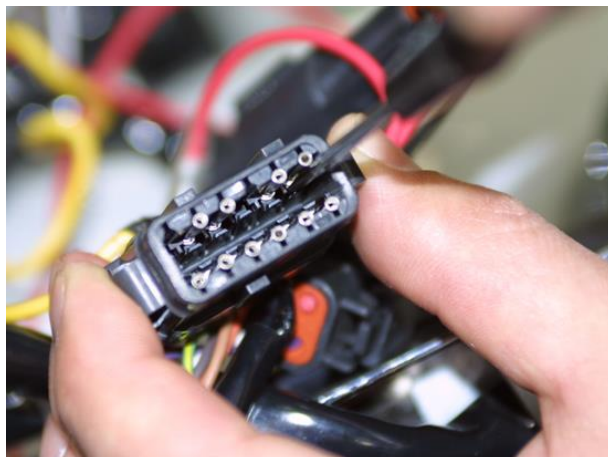
ドイツカプラーには、DTシリーズと、ひと回り小さいDTMシリーズがあります。
カプラー本体の品番をご確認ください。DTとなっているタイプには使用できません。

ハーネスの外し方

1. ラジオペンチで、オレンジの部品を引き抜きます。

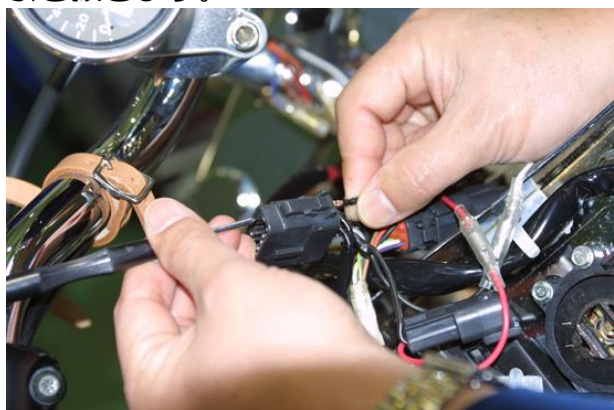


2. 精密マイナスドライバー等で抜きたいハーネス端子のロックを押し下げます。



※バッテリーが接続状態ですと、ドライバーにて端子同士がショートし、バイク側が故障する可能性がありますので、ご注意ください。

3. ハーネス端子のロックを押し下げながらハーネス自体を後方に引っ張り、端子を引き抜きます。



4. 組み付け時は、ハーネスを差し込み、オレンジの部品を元通りはめ込んで完了です。

** カプラーボディーにはハーネス毎に番号がついておりますので、ハーネスを抜く前に、ハーネス色と番号を控えておくとう間違いにくくなります。

東証JASDAQ上場
株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで